

令和7年度 学校評価評価票（学校評議員 用）

本年度の重点目標

- (1) 主体的に学び、思考・判断することで、自らの未来を切り拓き学び続ける生徒を育てる（思考力）
- (2) 自律の精神を養い、社会の一員としての自覚と自己実現のために行動する生徒を育てる（行動力）
- (3) 心身の健康増進を図り、さまざまな事に挑戦し粘り強くやり遂げる逞しい生徒を育てる（忍耐力）
- (4) 郷土や自他を愛し、協働する喜びと多様な価値観を認め合う人間性豊かな生徒を育てる（友愛力）
- (5) 学校における働き方改革を推進し、教職員相互の資質能力を高め合う職場づくりに努める（＝働き方改革の推進）

【評議員の評価】A～Dの該当に○を記入願います。
 A: 適切
 B: ほぼ適切
 C: やや不適切
 D: 不適切

【内部評価】本校教職員による評価については、各々A～Dで示した。
 A: 十分である B: おおむね十分である C: やや不十分である D: 不十分である

評価対象	評価項目	自己評価		評議員の評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
学習指導	1 生徒が自ら課題を設定し、課題解決を図る学習活動に取り組めたか	B	①ICT環境の緊急整備と活用スキルの共有 プロジェクターの整備を最優先課題として関係機関へ要望・整備する。また、教員間のICT活用スキル差を埋めるため、実践事例の共有や研修を行う。 ②探究プロセスの体系化と「型」の習得 探究学習の取組の前段として「課題発見・設定」の手法を学ぶプロセスを組み入れるとともに、教科横断的な視点を取り入れ、探究活動と各教科の連携を進める。	B AABB	A AAAB
	2 生徒の主体性を引き出し、知識の活用及び学びに向かう態度を育成する学習指導ができたか	B			
	3 学習の振り返りを重視し、多様な評価の場面を設定することで指導と評価の一体化が図られたか	B			
	4 生徒の主体的、協働的な学びの充実に向け、工夫・改善を図ることができたか	C			
ご意見・ご要望	・「MA+CHプロジェクト」等による探究活動を通じ、生徒の主体性が育まれている点を高く評価します。一方、生徒が自ら課題を解決し「創造」する段階へ学びを深めるためには、教員側の継続的な指導スキルのアップデートが不可欠です。また、プロジェクターの各教室常設など、ICT環境の不足は学習効果に直結するため、関係機関への強い働きかけを継続していただきたい。				
生徒指導	5 学校としての生徒指導方針を共有し、自己管理能力及び自己肯定感の深長を図ることができたか	B	①指導基準の統一と教職員の共通実践 生徒指導に係る方針を全教職員で再確認し、指導にブレのない体制を作る。特に年度当初に、生徒ヘルールの目的を含めて丁寧に説明する。 ②肯定的な関わりと早期発見 様々な場面での生徒の活躍を認め、良さを言葉にして伝える（自己有用感の育成）。生徒にSOSの出し方を示すとともに、アンケートや観察に基づきSOSを出さない生徒の小さな変化を早期にキャッチし、チームで対応する。	A AAAB	A AAAB
	6 学校からの情報を計画的に発信し、保護者と連携して生徒の自立性、社会性を育成できたか	B			
	7 学校生活のあらゆる場面で、きめ細やかな心の通い合う指導をすることができたか	B			
	8 生徒会活動や部活動等を通じ、生徒が主体的に活動し、活性化を図ることができたか	B			
ご意見・ご要望	・駅等の公共施設における周囲への配慮など、地域社会でのマナーについて引き続き啓発と見守りをお願いします。また、次年度は生徒会執行部が1年生のみとなる状況を踏まえ、生徒の自治を尊重しつつも、教職員によるきめ細かく温かいサポート体制を構築し、学校行事等の円滑な運営を支援してください。				
進路指導	9 生徒の社会的、職業的な自立に向けて、学年に応じたキャリア教育の充実を図ることができたか	B	①チームでの進路指導体制の構築 多様な進路希望に対応するため、担任一人が抱え込まない体制を構築し、進路実現に向けた個別の指導を全教職員で分担する。 ②3年間を見通したキャリア教育の可視化 3年間の進路行事や探究活動を「キャリア形成のステップ」として体系化し、生徒・保護者・教員がロードマップを共有できるようにする。	A AAAB	A AAAB
	10 地域の教育力を生かし、望ましい職業観、勤労観を養うことができたか	B			
	11 講習、模試・検定等の実施、活用やアカデミックインターンシップ等により、進路意識を高め、資質向上を図ることができたか	B			
	12 多様な進路希望に対応する指導体制を構築し、個別の進路指導の充実を図ることができたか	C			
ご意見・ご要望	・就職内定率100%や自衛隊への高い入隊実績など、多様な進路実現への尽力を評価します。私立高校の実質無償化等により中学生の進路選択が変化中、本校独自の魅力（探究学習の成果等）を地域に向けてさらに明確に発信し、「選ばれる学校」としてのキャリア形成を展開してください。また、一部の教員に負担が偏らない組織的な進路指導の確実な実行を望みます。				
健康安全指導	13 自他の生命や多様な価値観を尊重する態度の育成を図る教育活動ができたか	B	①人間関係構築のプログラム導入 コミュニケーション講座（SST等）を取り入れ、生徒が互いの多様な価値観を認め合い、良好な人間関係を築くスキルを育む。 ②心身の不調への多角的なアプローチ 保健室来室状況等を分析し、不登校の予兆がある生徒を早期に特定する。SC（スクールカウンセラー）と担任の連携を強化し、背景にある要因（家庭・友人関係）を含めた支援を行う。	A AAAB	A AAAB
	14 自らの心身について、健康を保持し危険を回避する態度・能力を養うことができたか	B			
	15 多様な教育活動を通して自己有用感や社会性を身に付ける態度を養うことができたか	B			
	16 あらゆる機会を通じて主体的に心身の健康増進を図る態度を養うことができたか	B			
ご意見・ご要望	・生徒の健康維持と集中力向上のため、教室の暑さ対策（エアコン等の空調設備）は極めて重要な課題です。校内での換気等の工夫にとどまらず、関係機関に対する継続的かつ強力な整備要望をお願いします。				

評価対象	評価項目	自己評価		評議員の評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
組織運営	17 スクール・ミッション、ポリシーに基づき、その具現化のための取り組みを推進することができたか	B	①情報共有のDXと迅速化 ICTを活用することにより、分掌・学年間の壁を取り払い、必要な情報がリアルタイムで職員全体に行き渡る仕組みを作る。 ②分掌・委員会機能の充実 各分掌の業務を整理するとともに、委員会規定を整備し、組織的、計画的に業務を進める。	A AAAB	A AAAB
	18 組織的に学校の危機管理・安全管理に取り組み、生徒の実践的な防災防犯教育の充実を図ることができたか	B			
	19 学校の諸課題に対し各部署が共通理解を図り、連携して対応することができたか	C			
	20 学校の諸課題に対し各種会議や委員会での合意形成により、課題解決を図ることができたか	B			
ご意見・ご要望	・「MA+CHプロジェクト」の道からの予算やコーディネーター配置が次年度で終了することを見据え、強い危機感を持っています。優れた探究学習の取組を頓挫させないための「持続可能な運営体制」および「独自の資金確保の仕組み」の構築を、学校運営の最優先課題として取り組まれることを強く要望します。				
いじめ対策	21 「いじめ防止基本方針」にもとづき適切な組織的対応を行うことができたか	B	①情報モラル教育の実効性向上 講話を聞くなど受け身的な取組にとどまらず、具体的な事例（SNSトラブル等）を用い、生徒の当事者意識を高める。 ②心理的安全性の高い学校風土づくり 教職員自身が、生徒に対する言葉遣いや態度を振り返る研修を行い、生徒が安心して相談できる信頼関係を構築する。	A AAAB	A AAAB
	22 人格尊重の精神を育成する教育活動を推進することができたか	B			
	23 SNS等によるネットいじめ防止のための機器の取扱いや情報モラル教育を適切に実施することができたか	B			
	24 いじめの問題について適切に情報提供するなど保護者等と連携して対応することができたか	B			
ご意見・ご要望	・SNSトラブル等の具体的な事例を用いた情報モラル教育の推進を評価します。校内での未然防止の取り組みに加え、日常的な声掛けや駅など地域社会での見守りを通じて生徒の小さなサインを早期に把握し、家庭や地域と連携した対応体制を維持してください。				
信頼される学校づくり	25 校務等の業務計画・事務処理について根拠を持って適切に対応することができたか	B	①効果的な情報発信 学校HPや公式note、学校だより、保護者配信メールを活用し、生徒の活躍や学校の教育活動を「新鮮なうちに」発信する。地域・保護者への説明責任を果たし、学校の応援団を増やす。 ②効率的な研修機会の確保 授業改善やICT活用等について、校内研修だけでなく、校外の集合研修や、オンデマンド研修等を活用し、多忙中でも教員が学び続けられる環境を整える。	A AAAB	A AAAB
	26 いかなる場合も教育公務員としての自覚を持ち、服務規律を遵守した行動ができたか	B			
	27 生徒に対する体罰や不適切な指導、発言を厳に慎み、教育活動に取り組むことができたか	B			
	28 経験に応じた研修に努め、自らの資質能力の向上を図ることができたか	B			
ご意見・ご要望	・コンソーシアム等を通じた地元企業や有識者との協働は非常に有意義です。学校祭のパレード等の学校行事について、町内会の回覧板などを活用して地域住民への広報を強化するなど、より一層地域に開かれ、応援される学校づくりを進めてほしいと願います。				
今日的課題	29 生徒の学びの充実を目的に、教育課程の工夫、改善及び組織体制、施設設備の改善が図られたか	B	①ICTを活用した業務の効率化の推進 ポータルサイトをさらに充実させ、情報共有と校務の効率化をさらに進める。 ②業務の平準化と標準化 担任、副担任の業務分担を明確にし、平準化を図るとともに、業務をマニュアル化し、スムーズな引継ぎにより、業務の標準化を進める。	A AAAB	A AAAB
	30 北海道アクションプランに基づき、勤務時間を意識した働き方を実践することができたか	C			
	31 教科指導等を通じて、成人の自覚と行動につなげることができたか	B			
	32 部活動の基本方針に基づいた適切な活動や指導に努めるよう工夫・改善することができたか	B			
ご意見・ご要望	・教員の多忙感や業務負担が教育活動に影響を及ぼしている現状を危惧しています。前例踏襲の行事や業務のスクラップ&ビルドを断行し、教員自身が心身のゆとりを持って自己研鑽や生徒への個別対応に注力できる環境（働き方改革）を整えることが重要です。				
全体を通じてのご意見・ご要望	・今年度は会議室での報告を通じて、学校の様々な取り組みと生徒の成長を知ることができました。次年度につきましては、より実態に即した評価と支援を行うため、普段の授業風景や生徒が実際に活動している姿を視察する機会を設けていただきたいと思います。同窓会や地域社会は本校の教育活動を全力で支援する用意がございますので、課題も含めて率直な共有をお願いいたします。				